

## 2008年度日本学生オリエンテーリング連盟第3回幹事会 議事録

時間：2009年 1月17日（土）

場所：八王子セミナーハウス（東京都八王子市）

### 1. 自己紹介

- ・省略

### 2. 日本学連WEBの更新状況

- ・変更について更新されていない点が多い
  - ・矢板地区についての制度の記載  
矢板渉外のファイルを更新する
  - ・クローズトレインの変更（日光口等）  
前高原をクローズにし、日光口磐裂の霊水についての記載を現状に即して直す。
  - ・今年度インカレ優勝者の記載
  - ・地区学連規約を変更した場合はWebも更新すること
  - ・関西学連のサイトもu o f jに移行する予定
  - ・ドーピング検査の規則がWebにのっていないとの指摘  
→小林がPDFファイルを作成して佐藤に送る

\*来年のWebサイト管理人がいないので探していく。  
決まらない場合は現幹事長の小林が管理を行う。

### 3. 休学者、専門学校進学者の競技者登録の扱いについて

- ・前例はとくにない。
  - ・専門学校の場合は学連登録できるようになっていない。
- 休学の場合、学校に籍があるので、今回の件ではそのまま登録できるようにする。

### 4. 活動報告書の作成について

- ・今年の3、4月に一度幹事長が集めるので、現職幹事はそれまでに作成する。
- ・インカレのプログラムや報告書にさしこむことで、日本学連を広報できないかも模索していく。

### 5. 09年度秋インカレについて

- ・矢板でやることを前提に進めている。11月22日（日）を考えている。月曜も連休。
- ・前高原全域をクローズとする。
- ・いま地図の知的所有権は日本学連。インカレ終了後の地図の所有は学連に帰属する。

- ・会計主体をジェネシスマッピングとして、学連としては財政的なリスクを負わない方向で進める。
- ・問題点は運営者の確保。栃木だと地域クラブに依頼できない。  
→東北大OBなどに依頼し運営者を集めるしかない。

## 6. 08年度春インカレに向けた準備

### 実行委員

- ・要項 2 とともに旧マップを配布する予定であったが、出せなかった。地区学連を通して各校に1枚ずつ配布する。WEBにも公開する。
- ・プログラムの配布は来年通りのOC大会では配布が間に合わない。完成は2月中旬か下旬の予定。ときわ走林会か、郵送による直接配布か、地区学連を通して配布する形もありうる。

### 事業部

- ・開会式の司会を関東学連に依頼している。
- ・去年問題のあった開会式の台本の件は堺理事とふたたびコンタクトをとってみる。
- ・後夜祭の宿は変則的ではあるが120名分確保した。
- ・講習会は、開かれるかどうか、いまだ未定。
- ・片づけは関東学連、北信越学連に依頼を検討中。

### 普及部

- ・インカレ観戦ガイドの依頼先を検討中

### 広報部

- ・賛助会員用にいぶきのMLを整備中。

### 事務局

- ・加盟者登録に不備が見つかったので修正中。

### 理事会

- ・地図についての利益分配を神奈川県協会と協議中。
- ・インカレ終了後の地図の販売元は神奈川県協会の管理になる。学連行事の際の優遇措置を考えている。  
→学連行事の際のクローズについての了解を得なければならない。

## 7. 後援申請

- ・2009年度東大大会から申請。  
→了承。

## 8. 技術委員会報告

- 9月 第二回学連合宿開催
- 10月 インカレロングシード選手を理事会に上申
- 11月 インカレロングのイベントアドバイザを派遣
- 11月 インカレスプリント試行大会のイベントアドバイザを派遣
- 12月 第三回学連合宿開催
- 1月 インカレミドルシードを理事会に上申
- 2月 第四回学連合宿開催
- ・資料参照

## 9. 理事会報告

- ・インカレの継続開催を目標に活動中
- ・現在はシード選手の選定中

## 10. TCG報告

- ・上記のロングとミドルの話をもって報告とする

## 11. 各部局報告

議題6を参照

## 12. 地区学連活動報告

省略

## 13. 来年度幹事について

- ・ほとんど決まりつつある

## 14. 引継ぎについて

- ・次回幹事会に参加してもらう。
- ・来年度幹事が決定し次第、現職幹事が引き継ぎを行ってゆく。

#### 15. 次回幹事会、総会日程について

- ・総会は春インカレ開会式のあと（19日）
- ・幹事会は開会式の前日案が有力（18日）

#### 16. インカレスプリントに関して

- ・現在インカレスプリントの方針を模索中  
それをまとめないことには規則が決められない
  - ・インカレが年3回あることによる学生の金銭的、時間的負担や運営者探しの問題
    - 案1-1 学連として大々的にやってロング・ミドルと同列に扱う
    - 案1-2 インカレロングと連続日程とする
    - 案2-1 全日本スプリントと共催をめざす（断られたら独自で）
    - 案2-2 全日本スプリントと共催をめざす（断られたらその年はなし）
- 技術委員会内部としては案2-1が多数
- 案2-1だと
- ・全日本スプリントと共催することで、学生でもそれなりに上に近づける。卒業後オリエンテーリングを続けてもらうきっかけになるかも。
  - ・全日本スプリントと同じコースを走れる。調整が一度で済み楽だという学生トップ選手の意見も。
  - ・全日本スプリントがある時期は秋。
  - ・要項が出る時期が遅れる可能性、品質が保たれる保証はない。
  - ・ミドルやロングよりインカレとして少し弱い印象になるのは仕方ない。
- 案3 毎年どこか特定の団体に委託
- ・精密なスプリントの地図はコストがかかる。

#### ◎予選の問題

- 地区学連に割り振るのは難しい。セレクションを開くのにもめた学校も
- ・東北や名古屋ではなかなか全日本スプリントのE権も取れず不平等。
  - ・人数ベースか実績ベースで学校に割り振り？
  - ・全員で予選を走るのも、割り振りが難しく、運営者側にも負担。
  - ・過去のインカレを振り返ると男女合わせて300人くらいまでが予選決勝方式の限界かと。
- ・2009年度実施なら規約づくりを急がなければならない。

- ・方向性がまとまり次第またMLで。

#### 17. 09年度春インカレ

- ・地図、人材資源から関東が有力。

#### 18. 普及について

##### 普及部より

- ・継続して普及活動を行えるように組織作りを考えている。  
→JOAなど様々な機関と連絡を取り合っている。
- ・賛助会員の窓口という活動も含めて構想しているところ。現状、事務局では賛助会員という制度を扱いきれてない。  
→賛助会員という制度を事務局から普及部へ受け渡すことで合意  
→賛助会員用のいぶきMLも普及部の管轄に。
- ・インストラクター講習会の利用促進。  
→それに近い形で新歓向けの合宿を企画することも可能である
- ・賛助会員についての電子メール受け付け制度を構想